

不妊治療の保険適用に際しての要望事項



保険適用に際しての要望（NPO法人Fine）

- 1** 現行の治療の維持。患者の選択肢を減らさないで頂きたい
- 2** 保険が適用されない部分に関して、助成金を残して頂きたい
- 3** 第三者機関による医療機関の審査を実施して頂きたい
- 4** 事実婚のカップルの治療にも保険適用をお願いしたい
- 5** 年齢別（1歳毎）の治療成績の開示をお願いしたい
- 6** 患者の心理的ストレス、メンタルケアへの体制を整えていただきたい

APPENDIX

参考資料

INDEX

- 1** | NPO法人Fine自己紹介
- 2** | 不妊治療の現状と仕事との両立
- 3** | 不妊治療の4つの負担に関する
課題と解決案

INDEX

1 | 自己紹介



Fineは不妊経験者で構成されています

Fineとは

不妊体験者による、不妊体験者のための、
セルフ・サポート・グループ（自助団体）です。

名称	特定非営利活動法人Fine（ファイン）
設立	2004年1月（法人化は2005年1月）
所在地	〒135-0042 東京都江東区木場6-11-5サニーコーポ・K201号室
理事長	松本 亜樹子
スタッフ数	理事：4名（理事長含む） スタッフ：34名（2021年1月現在）
会員数	約2,600名（2021年10月現在）
目的	<ul style="list-style-type: none">不妊治療患者が正しい情報に基づき、自分で納得して選択した治療を安心して受けられる環境を整える不妊体験者が社会から孤立することなく、健全な精神を持ち続けられる環境を整えることにより社会貢献する
活動分野	<ol style="list-style-type: none">①保健、医療または福祉の増進を図る活動②男女共同参画社会の形成の促進を図る活動③子供の健全育成を図る活動④前各号の掲げる活動を行う団体の運営・活動に関する連絡、助言または援助活動
HP	https://j-fine.jp/



コミュニケーションの提供



このような事業で活動しています



啓発事業



公的機関への働きかけ



カウンセリング



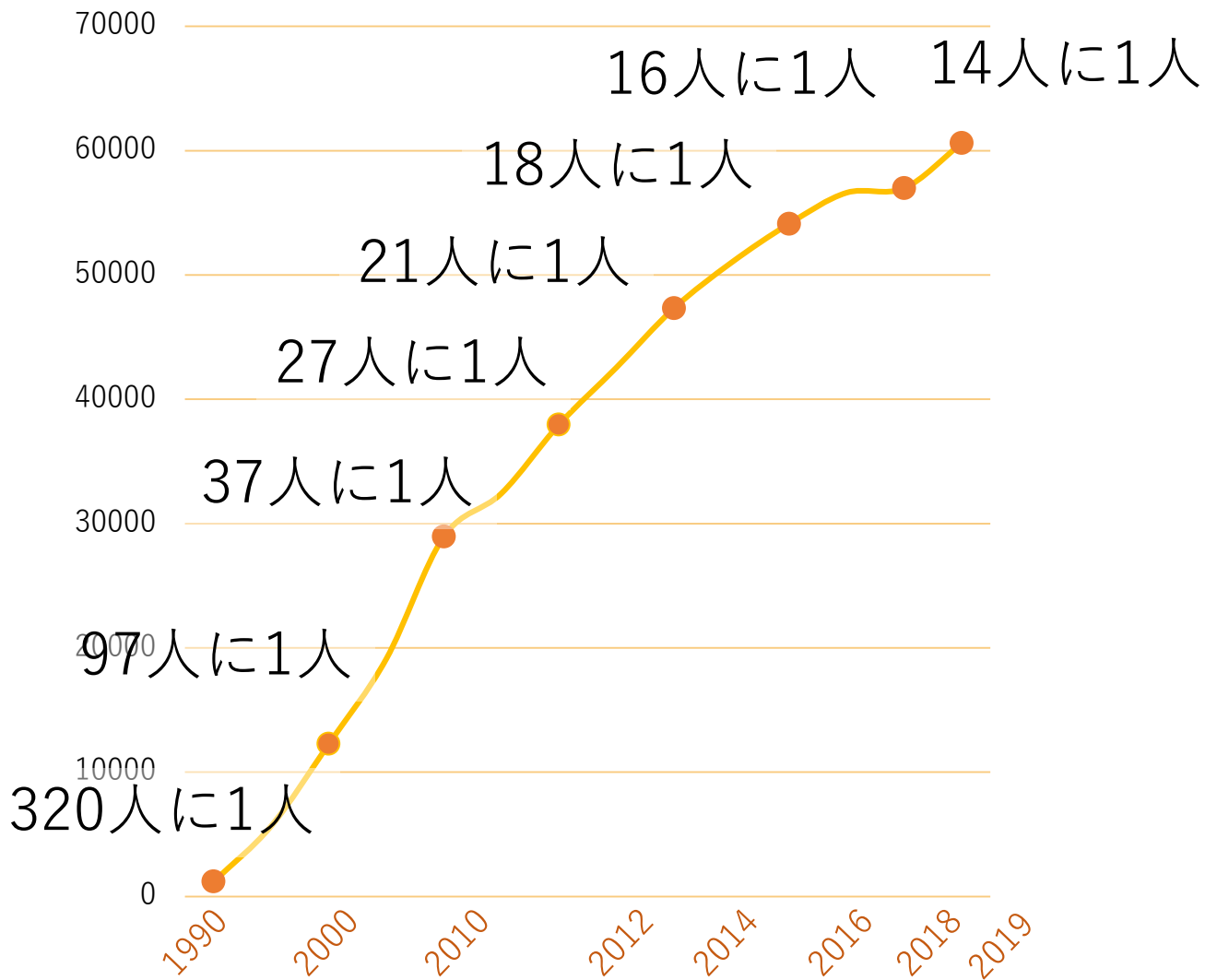
情報提供



INDEX

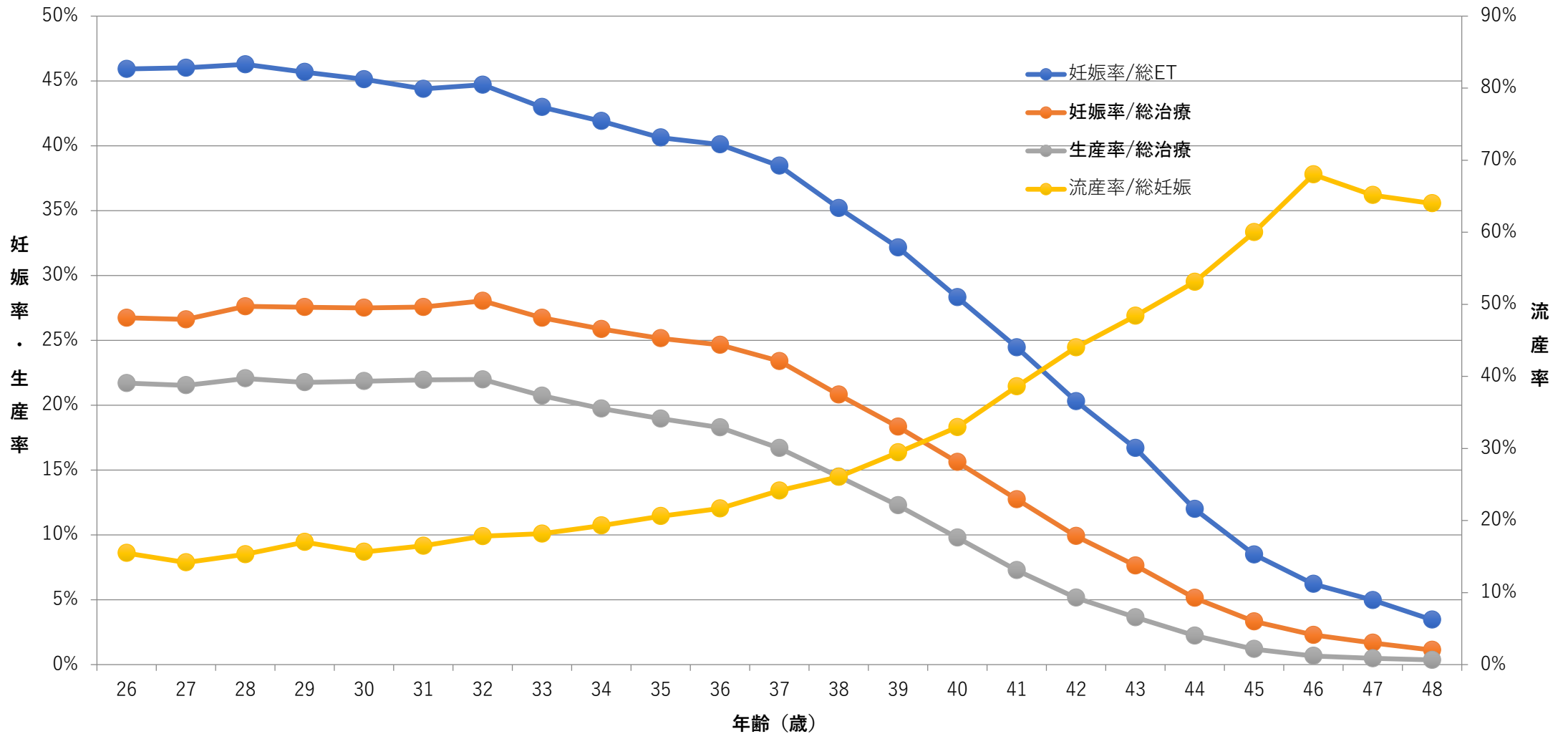
2 | 不妊治療の現状と 仕事との両立

体外受精で生まれた子どもの数



年々増加傾向

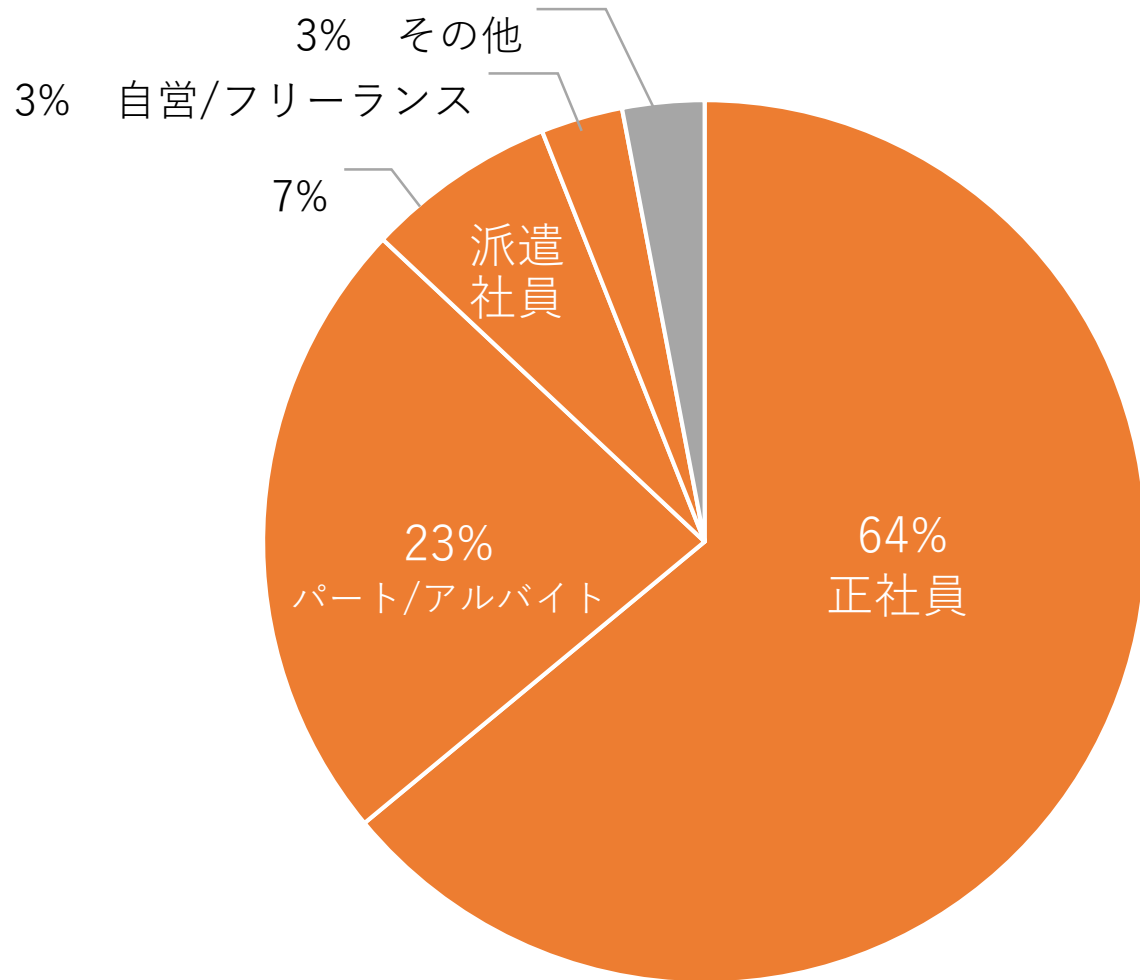
体外受精の妊娠率・生産率・流産率



公益社団法人日本産科婦人科学会ARTデータ (2019年) より

© 2021 NPO法人Fine

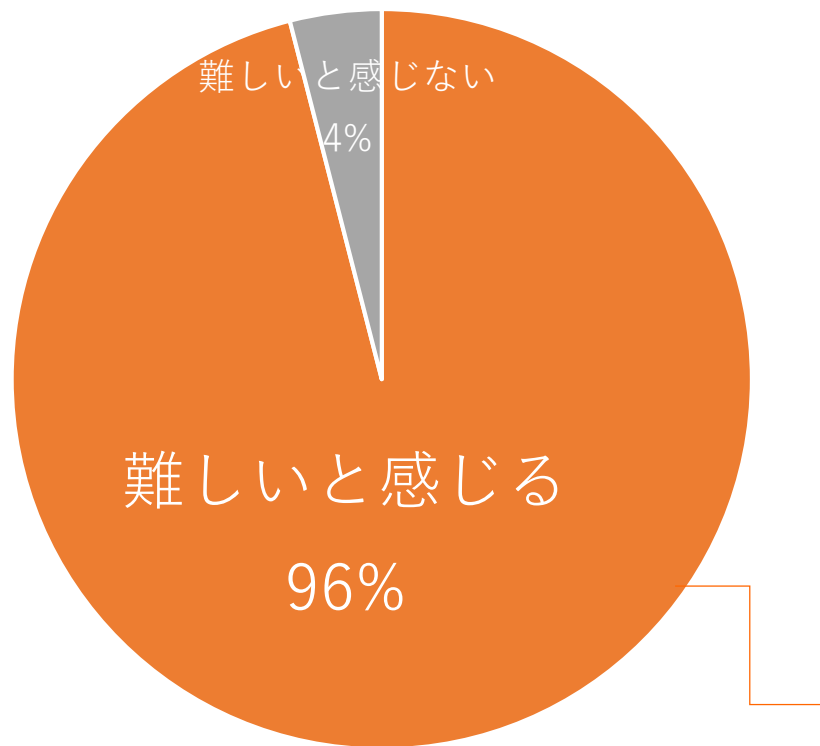
仕事と不妊治療を両立する人の雇用形態



全体の97%が
仕事をしながら
不妊治療を行う

* Fine「仕事と不妊治療の両立に関するアンケートPart2」(2018年)

不妊治療中と仕事の両立



上位例

理解が得られない 658

周囲に迷惑をかけて心苦しい 1300

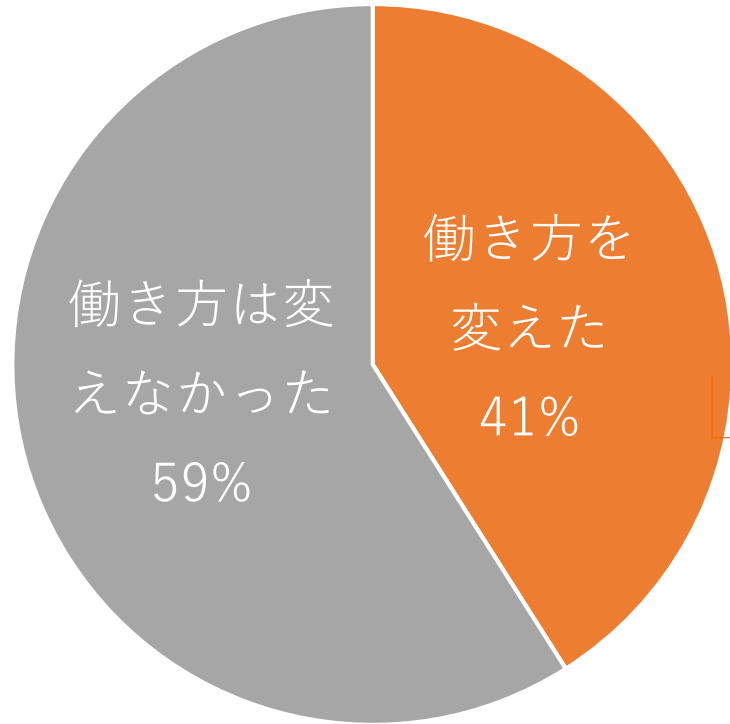
スケジュールを立てることが難しい 2402

急に・頻繁に仕事を休むことが必要 3651

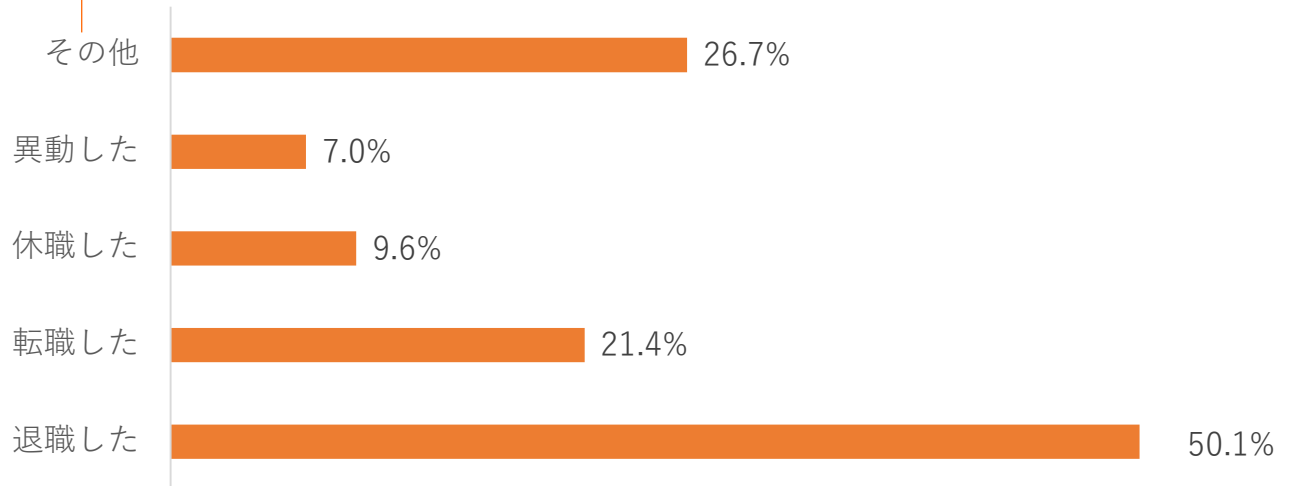
仕事と不妊治療の 両立は難しい

* Fine「仕事と不妊治療の両立に関するアンケートPart2」(2018年)

不妊治療中の働き方の変化



約20%が不妊治療と両立できずに退職



* Fine「仕事と不妊治療の両立に関するアンケートPart2」(2018年)

不妊退職が及ぼす社会的経済損失

1,345億3,363万円

①不妊治療件数：448,210件

②不妊治療患者：149,403人

③女性の就業率：69.7%

④不妊治療と仕事を両立できずに辞めた人の割合：23%

⑤不妊治療による離職者数（②×③×④）：23,951人

⑥女性の平均賃金（年収換算）：3,718,478円

⑦所得の減少（⑤×⑥）：89,061,266,578円

⑧労働分配率：66.2%

⑨企業活動の付加価値の減少（経済損失）（⑦÷⑧）：134,533,635,314円

* Fineにて算出

INDEX

3 | 不妊治療の4つの負担に関する課題と解決案

Fineが提唱し続けてきた不妊治療の4つの負担

1) 身体的 (からだ) の負担

- 治療にともなう負担

2) 精神的 (こころ) の負担

- 焦り 悲しみ 周囲との関係 自己否定／嫌悪

3) 経済的 (お金) の負担

- 高額な治療費 長引く治療 治療助成金も減額

4) 時間的 (通院) の負担

- 仕事との両立 職場での気苦労 治療費の捻出

身体的負担に関する課題と解決案

■どんな負担・課題があるか？

- 出産率が低いので治療を繰り返す ⇒ これにより精神的負担も生じる
- 検査や治療で日本では認められていないものがある
- 治療方法が様々で、患者はどの方法を選べばよいかわからず転院を繰り返す
- クリニックの成績の開示がない
- 施設により技術の格差があるが、その判別がつかない

■負担の理由と影響

- 治療方法が確立されていない部分もある
- そもそも法律がない
- 設備や人への投資に格差がある
- 設備に対するガイドラインや資格保持者についての決まりがない

■要望・解決案

- 法整備により、なんらかのガイドラインを設ける
- 第三者機関による審査制度を設ける
- 設備や仕組みなどのガイドラインに加え、チェックシステムを設ける
- 培養士等専門職の資格制度なども整備する

精神的負担に関する課題と解決案

■どんな負担・課題があるか？

- 不妊や不妊治療に対する**無知、偏見、特別視**がある
- 不妊は**恥ずかしいこと**、少数派、劣等感、自己嫌悪がある
- 結婚したら子供ができて当たり前という考えからの**プレッシャー**がある
- 周囲に話せる人がおらず、**当事者が孤立化する⇒精神科・心療内科へ**
- 子どもを持つことを周囲から望まれ、**治療を進められる**こともある

■負担の理由と影響

- **教育(学校／会社)での妊娠・不妊に関する教育がない**
- 当事者も不妊に関する正しい知識を知らない
- 正しい知識、情報がいきわたっていない
- **養子縁組や里親制度への知識がない**

■要望・解決案

- **学校教育**(ヘルスリテラシー／プレコンセプションケア)
- **新入社員など若い世代で、キャリア教育にヘルスケアを入れる**
- 啓発活動／周知活動(国単位)
- 不妊(治療)に関する**悩みや相談に対応する窓口の増設**(企業内／民間)
- **カウンセラーを利用しやすい仕組みと風土の醸成**

経済的負担に関する課題と解決案

■どんな負担・課題があるか？

- すべて**自費診療**のため、高額な治療費が負担
- 治療をしたくても**費用が捻出できず**受けられない
- やっとの思いで受けても、費用面で**継続できない**
- 妊娠しやすい**若い世代ほど**、費用の面で治療ができない

■負担の理由と影響

- **保険がきかない**ため
- **助成金の年齢・回数・合算年収制限がある**ため
 - ⇒**借金**をしてまで治療をする人がいる
 - ⇒可能性があるのに、金額のために**治療を断念**する人がいる
 - ⇒若年層が治療できず、治療全体の**成績も下がる**ことにつながる

■要望・解決案

- **すべての薬と検査の保険適用**／回数や年齢や施設など条件付きでの保険適用
- 助成金の**合算年収制限の撤廃**か緩和
- 助成金の1回の金額の**上限の見直し**（満額はかわらないとしても）
- 助成金の年齢制限の見直し(現状に合わせて1～2歳あげる)
- **若い世代ほど経済的な補償**を手厚く
- 望む人が早い段階で不妊治療を選択肢に入れられるような仕組み

時間的負担に関する課題と解決案

■どんな負担・課題があるか？

- 仕事との両立が困難で、5人に1人（もしくは23%の女性）が不妊退職
- 不妊退職による経済的損失額は1345億円(+雇用・育成費用×退職者分)
- 社会的な経済損失・人財損失につながっている
- プレ・マタニティハラスメントが起こっている(退職勧告も)

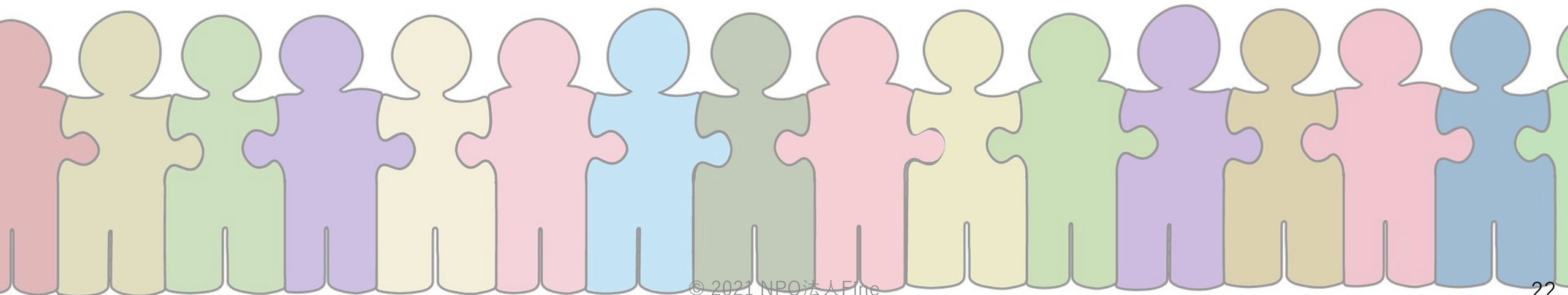
■負担の理由と影響

- 職場での理解が進んでいない、もしくは全くない。
- 不妊治療に使える制度がない
- 制度があっても風土がない
- 周囲へのしわ寄せ問題

■要望・解決案

- 教育(ヘルスリテラシー／プレコンセプションケア)
- 新入社員など若い世代で、キャリア教育にヘルスケアを入れる
- 不妊治療に使える制度の設定と、制度だけでなく風土の醸成
- 不妊退職をした従業員の再雇用制度
- くるみんマークの認定条件の中に「不妊治療に関すること」を
- フレキシブルな就業・雇用制度
- 有給休暇取得の奨励・利用のしやすさの向上

産みたい人が産める・働きたい人が働ける、
不妊・不育に関わる課題解決で
ダイバーシティイノベーションの第一歩へ！



データ等についてお問合せはこちらへ



- NPO法人Fine(ファイン) URL : <http://j-fine.jp/>
- E-mail : fine-riji@j-fine.jp
- 住所 : 〒135-0042 東京都江東区木場6-11-5 サニーコーポ・K 201